

# Super Canopy Dome 328

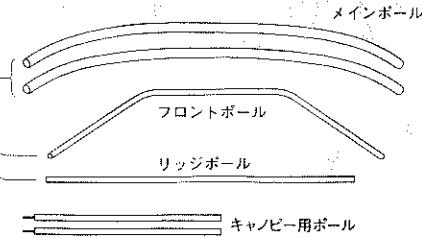
この度はスーパーキャンビードーム328をお買い上げいただき誠に有難うございました。テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

## 設営手順

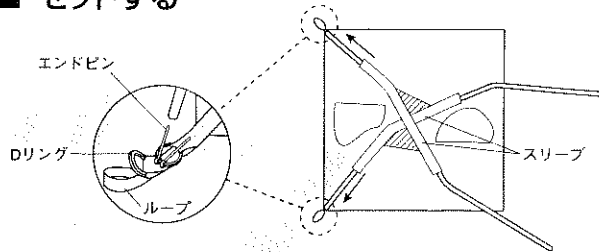
### 1 セット内容の確認

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- 本体 (インナー) 1張
- フライシート 1張
- メインポール (ブラック) 2本
- フロントポール (ブラック) 1本
- リッジポール (ブラック) 1本
- キャンビードーム用ポール (シルバー) 2本
- 自在ロープ (3M) 6本
- 自在ロープ (2.5M) 4本
- プラスチックペグ 4本
- STピンペグ 15本
- ハンマー 1ヶ



### 2 本体にポールをセットする



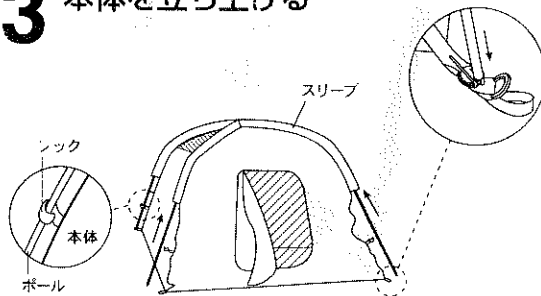
- ①本体を広げ、メインポール2本を延ばしてください。
- ②メインポールの先端をドアの両サイドからスリーブに通してください。

ポールは引っ張らず必ず押し入れてください。

- ③各々のポールの先端を本体の角のループに付いているエンドピンにセットしてください。

**注意**  
ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んで下さい。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

### 3 本体を立ち上げる



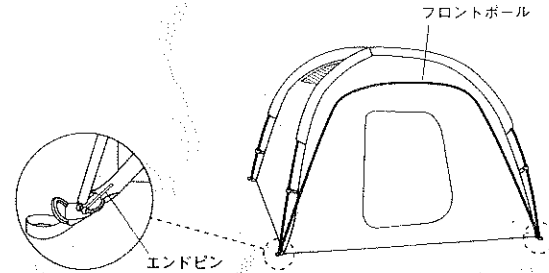
- ①出入口は空気が入りやすいよう、あらかじめファスナーを全開しておきます。
- ②メインポール2本を矢印の方向へ押しながら本体を立ち上げてください。

この時スリーブを持ちながらポールを押し入れてください。スリーブを持たずに押し込むとポールが折れたり本体がやぶける事があります。

- ③立ち上げましたら手前のエンドピンにポールをセットしてください。
- ④本体についているフックを各ポールに掛けて、固定してください。

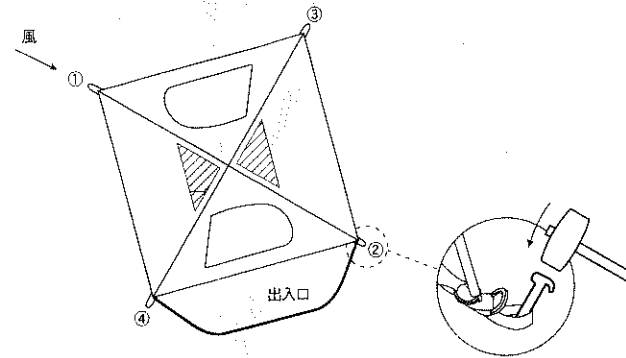
フックで手をはさまぬ様注意してください。

### 4 フロントポールをセットする



- ①本体コーナー2ヶ所に残っているエンドピンにフロントポールをセットしてください。

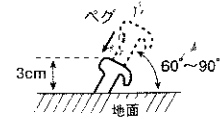
### 5 設営位置を決め四隅をペグで固定する



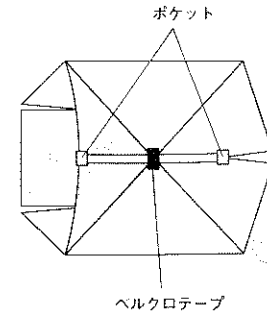
- ①図の様に四隅のループを風上より順(①~④)に対角線にペグを打ち、本体を固定してください。

出入口は風下に向けてと風の影響を受けにくくなるので、全体(テント、タープ等)のレイアウトをあらかじめ決めてからテントを固定してください。

ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

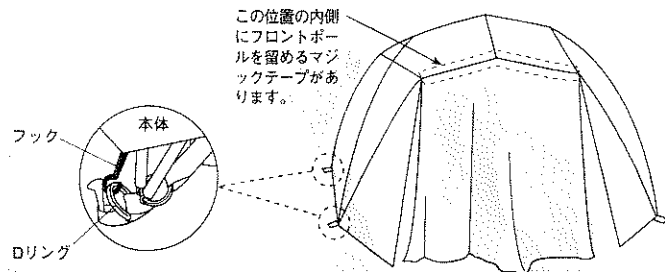


### 6 フライシートにリッジポールをセットする



- ①フライシート内側のポケットにリッジポールを差し込み、中央部分をベルクロテープでとめて固定してください。

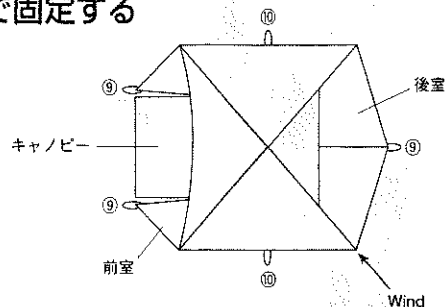
## 7 フライシートを本体にセットする



この位置の内側にフロントポールを留めるマジックテープがあります。

- ①フライシートを出入口側から掛け、内側にあるフロントポールとメインポールぞいのベルクロテープをポールにとめてください。
- ②四隅のフックを本体のループにつけているDリングに掛けてください。
- ③フライシート内側のベルクロテープをメインポールにとめて固定して下さい。

## 8 フライシートをペグで固定する



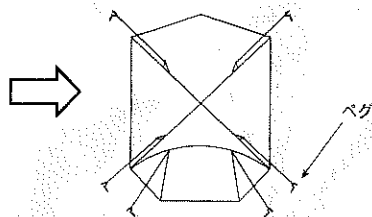
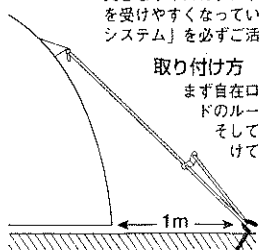
- ①フライシートの前室、後室の裾についているループ⑨をペグで固定してください。
- ②フライの両横の裾についているループ⑩を出来るだけ本体とはなした位置でペグ打ちしてください。

## 9 ストームガードシステムの活用

大きなサイズのテントはその構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガードシステム」を必ずご活用ください。

### 取り付け方

まず自在ロープの端をストームガードのループに固定します。そして打ったペグにロープをかけて自在をしめあげます。



- ①上・左図の要領にて6カ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。
- ②自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。

### △ 取扱上の注意

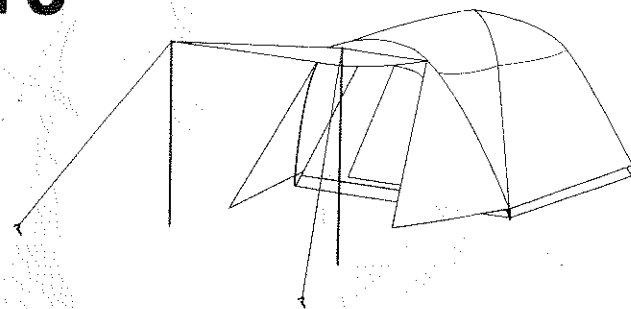
●テント内での火気の使用は危険ですのでお避けください。また炎から離れたところに設置してください。●テント内と外の気温差が高い時、テント内に水蒸が生じることがありますが(結露)これは水漏れではありません。窓をあけるなど換気を行なうことで軽減できます。●台風・暴風雨の際は危険ですのでテントの使用はお避けください。

### △ 収納・保管の注意

●ご使用後は汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態ですと色うつりする場合があります。●生地破れなどは市販のリペアキットで補修が可能ですが、パーツ交換や本格的な修理が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

COLEMAN JAPAN Co.,Ltd.

## 10 キャンピィーの活用



- ①付属のキャンピィー用ポールを使い、前室をキャンピィーとしてご使用ください。

A P A J I C